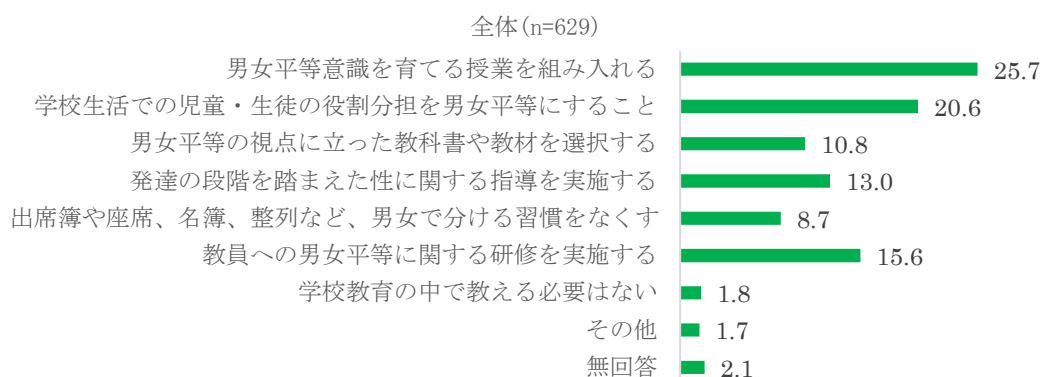


## 4 学校教育について

### 1 学校で男女平等教育を進めるために取り組んでほしいこと

◆【男女平等意識を育てる授業を取り入れる】が最も高く、次いで【学校生活での児童・生徒の役割分担を男女平等にすること】となっています。



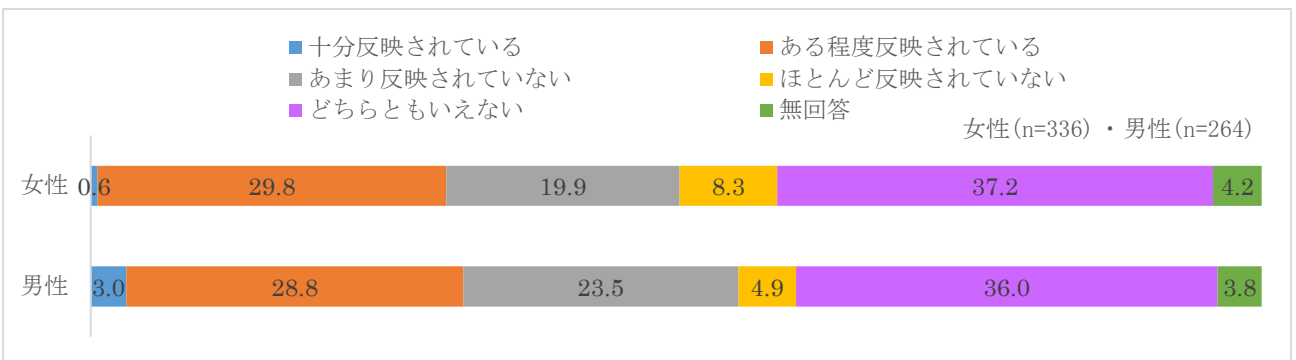
#### 【その他】を選択した方の意見

- ・家庭で教えること。何でも学校で教えると思わないこと。
- ・身だしなみで、あまりに差がある校則をなくす。制服のスラックス、スカートの撤廃。
- ・生物学とか生理学に沿った性教育を考えてほしい。
- ・男女平等も大事だが、生理による体調不良・PMS・体育欠席など男性とは同じように出来ないこと、出来ない日があるのも事実。そこを周りに「ズルイ」「特別」「本当に？」という感覚にさせない教育。当たり前前に労う言動が取れる教育をするのも大事だと思う。
- ・男女平等もそうだが、性別にとらわれない人権教育、性教育を積極的に取り入れてほしい。
- ・異性も含めた他人の個性を尊重し、共に活動しようとする態度を育てること。
- ・たてわり班での男女上下級生を超えたコミュニティ形成の充実。
- ・学校教育の段階では必要ないと考える。学校で学ぶことなのか。
- ・すでに行っていると思う。
- ・学校等で話し合うことをしてほしい。
- ・性差というものをしっかり理解させる教育も必要だと思う。男性は出産できない、本来男性は女性を守るもの（力を持っているのは男性）、差別ではなく男性、女性の本来あるべき姿や本質的な能力などを知らせるべきと思う。
- ・先生方の中に男女差異に関してあきらめている所もあると感じる。そのからの立て直しをして頂きたい。
- ・小中学生に男尊女卑の思考はありません。むしろ教育現場でうえつけていないか。
- ・平等意識を育てる授業は逆効果ではないか。当たり前のように平等である環境を作り、概念をつくりかえなければ難しい取り組みだと思う。
- ・クラス単位ではなく、学校単位での男女平等に関する研修。（先生も生徒も）

## 5 社会参加について

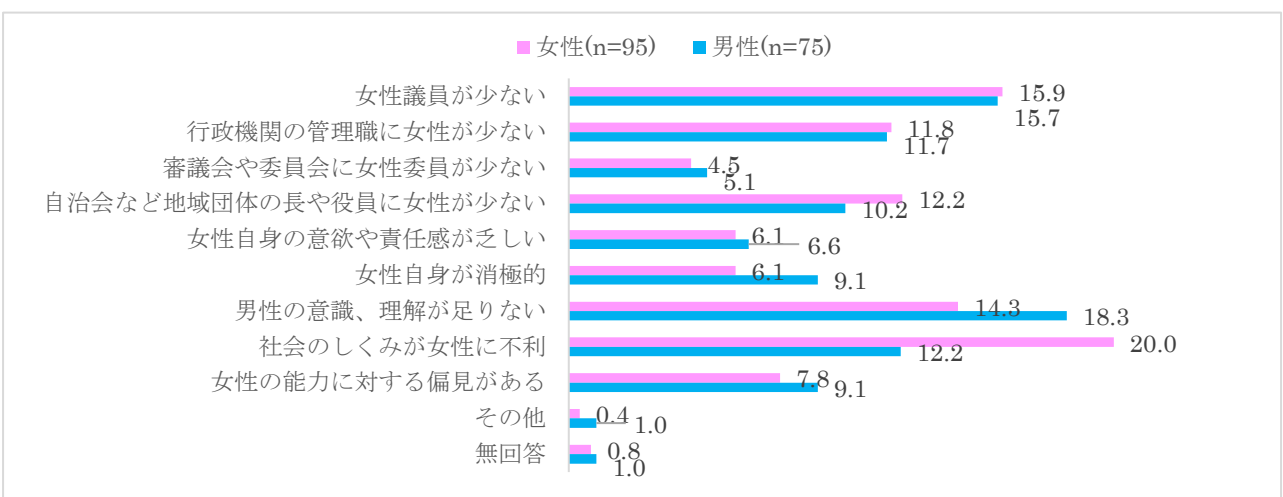
### 1 地方自治体などの施策への女性の意見・考え方の反映度

◆男女ともに「反映されている」と答えた方は、3割となっています。



### 2 女性の意見や考え方が反映されていない理由

◆女性は【社会のしくみが女性に不利】が最も高く、男性は【男性の意識、理解が足りない】が最も高くなっています。

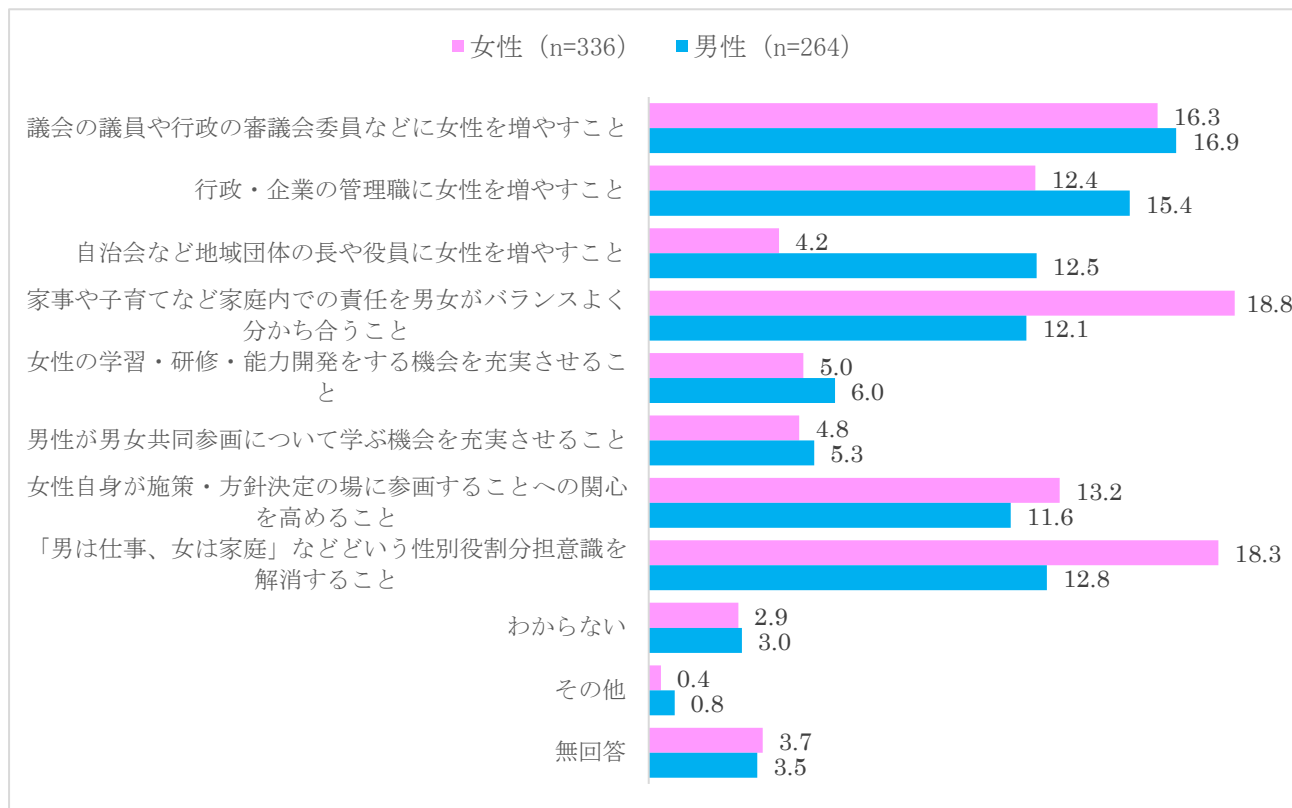


【その他】を選択した方の意見

- ・声の大きい女性発言者が、結果的に女性の声を消している。
- ・男性高齢者が女性の権利を軽視、女性を軽視している。
- ・古くさい考えをする方が多い。時代遅れである。
- ・川島町は特別保守的だと思う。積極的に参加しても、高齢男性たちにつぶされる。諦めている。

### 3 女性が政策・方針を決定する場に進出するために必要なこと

◆女性は【家事や子育てなど家庭内での責任を男女がバランスよく分かち合うこと】、【「男は仕事、女は家庭」などという性別役割分担意識を解消すること】が高くなっています。  
 ◆男性は【自治会など地域団体の長や役員に女性を増やすこと】が女性のほぼ3倍の数値になっています。



#### 【その他】を選択した方の意見

- ・論理的思考と冷静な分析力。意思決定における感性や感情のウエイトを下げる。スマホの情報収集をやめる。きちんと文献を読む。
- ・自分が何をやりたいのか、どうなりたいのかを上司、役員にきちんと理解してもらうこと。
- ・男性と女性の立場でたつことをやめること。
- ・何をやっても古くさい考え方は変わらないと思う。
- ・女性が責任を負うという覚悟を持つこと。
- ・川島町の強みとして町の方針として掲げるべき。
- ・川島町の風潮では女性は育たない。男性が強いのはいいことだが、男尊女卑の傾向が根深すぎる。時代を理解していない町は取り残されてしまう。ボス的な男性、その周囲の人たちは世代交代の時期。45歳くらいで交代する制度にしないと、新陳代謝がうまくいかない。

- ・生活に根付いている男女差の解消、またそういった考えで生きている人がいなくなる限り改善は無理なので、教育の場でこれからの子どもたちに学ぶ機会を与えることと、周囲の人間が男女平等を意識して生活することも大事だと思う。正直、会社等で男女の優遇の違いを改善するにはかなり時間がかかると思う。（男女平等を訴える大半が女性のため、意見が反映されにくいと感じる。）